

2018 年度

Okayama—Kasetsart—National Taiwan International Practical Environmental Education Program(GP 特別コース)

岡山大学環境理工学部・農学部／タイ国カセサート大学／国立台湾大学

1. 概要

夏季休暇中(タイ 10 日間, 台湾 10 日間, 日本 10 日間), 2 年生を対象に「GP特別コース」を開講しました。

タイ国のカセサート大学では, 2018年度は8月12日～8月21日にかけて実施されました。期間中, 岡山大学環境理工学部の学生5名と農学部の学生2名は, カセサート大学の学生5名とともに天然資源や環境問題を考えるうえで重要となる環境経済学や環境保全活動の実践教育を受けました。

これに加え, 本年度から新たに岡山大学の学生を国立台湾大学へ派遣するプログラムが開始され, 8月9日～8月18日にかけて, 環境理工学部6名と農学部の学生1名が, 国立台湾大学の学生5名とともに水資源システムの総合的理解, 水資源管理の問題と持続的開発に関わる問題解決をテーマとして, 水資源システム, 管理ツール, 気候変動, 水災害に関する実践教育を受けました。

また, 岡山大学環境理工学部においても同様に, 8月30日～9月8日の期間, 日本・タイ・台湾の3カ国の学生が, 「人間活動と水環境」をテーマに講義演習を受けました。

本コースの基盤となっている現代GPの取り組みでは, データの収集と解析力(Analysis of Data), 体系的な思考力(Thought), 問題解決のための計画性(Plan), 行動力(Action)そしてコミュニケーション能力(Communication)を付加した ADTPAC 水環境スペシャリストを, 晴れの国である岡山より輩出することを目論んでいます。特に本コースでは英語で講義実習を受けることで生きた英語を学び, カセサート大学と国立台湾大学の教員・学生との交流を通して環境学や異文化に接することにより, コミュニケーション能力と体系的な思考力を鍛えることを目的としています。

2. タイ国での講義風景

右の写真はアカデミック・コーディネーターである Dr. Penporn 先生による講義風景です。カセサート大学における講義は, 天然資源, 食料や環境に関連する循環型社会における環境経済の概念や理論の理解を目的としています。講義は昼休憩を挟んで午前9時から16時まで行われました。



タイ国カセサート大学・バンケンキャンパスにて



国立台湾大学・講義室にて



カセサート大学での講義風景(Dr. Penporn 先生)

右の写真はお互いの国の環境問題を紹介するプレゼンテーションの風景です。本コースにおいては、タイと日本の学生がそれぞれの国における環境問題について議論を交わすことで、国の枠を超えて環境問題を体系的に考え、コミュニケーション能力を高めることを狙いの一つとしています。



プレゼンテーションの風景

3. タイ国での実習風景

カセサート大学カンペンセンキャンパスにおいて、水産学部水産研究所では、淡水魚(ティラピア)の養殖システムについて学びました。ライス研究ステーションでは有機米の栽培・製造方法などについて学びました。

バンコク郊外の水質浄化施設では、タイ国の環境研究開発プロジェクトである「水生植物やマングローブ林などの自然の力を利用した水質浄化システム」について学びました。

また、バンコク郊外チャン・ホア・ムンのロイヤル・イニシアティブ・プロジェクトでは、経済的に実行可能な作物を化学肥料なしで栽培する有機農業、酪農と風力エネルギーなどについて学びました。



カセサート大学カンペンセンキャンパスの施設



バンコク郊外の水質浄化施設



ロイヤル・イニシアティブ・プロジェクト

4. タイ国でのレクリエーション

Cultural Activity の一環として、タイ王宮を訪問しました。現地のガイドさんの英語による説明を受けながら、タイの文化を体感しました。



タイ王宮にて

5. 台湾での講義風景

国立台湾大学では、本年から「持続可能な水資源管理」をテーマとしたコースが実施され、国立台湾大学と岡山大学の学生が参加しました。右の写真は、国立台湾大学でのコーディネータの、Prof. Yu 先生による地理情報システム(GIS)に関する講義の風景です。講義は、昼休憩を挟んで9:00から16:45まで行われました。受講生は、両大学の学生混成の4グループに分かれ、全員で水資源管理に関わる様々な課題について学び、最終日に、各グループが水問題に関わるテーマについて英語で発表し、討議を行いました。



地理情報システム(GIS)に関する講義
(Prof. Yu 先生)

6. 台湾での実習風景

Dr. Yam 先生の引率で、台北郊外に広がる湿地帯にある関渡自然公園(Guandu Nature Park)で野外研修が実施され、亜熱帯における湿地の生態とその管理についての考え方が紹介されました。この現地研修を通して、人間活動が台湾における湿地帯に及ぼす影響と、湿地における動植物の生育環境と多様性を守るための方策について学びました。



関渡自然公園(Guandu Nature Park)での野外研修

7. 台湾でのレクリエーション

世界四大博物館の一つにも数えられる故宮博物館を訪ね、中華文化の名品を見学しました。

また、運河沿旧市街地にて、昔ながらの商店が並ぶ町並みを散策しました。



故宮博物館



運河沿旧市街地

8. 日本での講義風景

右の写真は岡山大学環境理工学部での講義風景です。日本では「人間活動と水環境」をテーマに掲げ、水環境に関わりのある学問領域から多くの講師が講義と演習を担当して**実践型環境教育**を実施しました。

タイおよび台湾で学んだ内容をそれぞれとりまとめ、英語でプレゼンテーションを行いました。発表の準備には専門用語を含めた高いレベルでのコミュニケーション能力とともに、全体を総合して体系的に捉える能力が必要となり、学生にとって良い機会になりました。



岡山大学での講義風景

9. 日本での実習風景

倉敷市玉島平野に位置する溜川において、水環境の改善活動に取り組んでいるNPO法人「溜川を美しい川にする会」の会員のご支援のもとセミナーを行いました。現地では溜川を地域の財産と位置付け、地域住民が主体となって改善活動に取り組まれており、水環境改善活動における地域連携の重要性を学ぶことができました。

ダルマづくり体験、味噌醤油工場を見学しながら街を歩き、古き日本の伝統的文化を継承する玉島の魅力を再発見しました。

中国四国農政局の職員の方々にご協力頂き、吉井川流域の新田原井堰を見学しました。岡山東部地域における水利開発、土地基盤整備を学ぶことで、効率的で安定的かつ地域の生態系・景観に配慮した田園環境の保全・創造への取り組みを知ることができました。



英語でのプレゼンテーション



溜川、ダルマづくり体験、味噌醤油工場の見学



新田原井堰の見学(岡山東部地域)

10. 修了証書授与式および修了式



修了証書授与式および修了式(カセサート大学)



修了証書授与式および修了式(岡山大学)



修了式(国立台湾大学)

カセサート大学及び岡山大学にて挙行了した修了証書授与式の様子です。受講者には日本とタイでそれぞれ試験が課せられ、合格者には各3単位の計6単位が付与されます。2008年～2018年ともに受講者全員が最終試験に合格し、11年間で175名の修了生を輩出することができました。

また、国立台湾大学では、グループごとの最終発表の終了の直後、閉講式が行われ、生物資源農学院 院長の Prof. Luu 先生とアカデミックコーディネーターの Prof. Cheng 先生がそれぞれ挨拶をされました。